

■ 設置にあたっての注意

- ① ストープを設置する床面は、ストーブの荷重に耐えることができる構造として下さい。
- ② 設置の際の周囲の仕上げ材等については法令を遵守して下さい。本体側面から壁面等までは50cm以上離して設置して下さい。壁等を近接させたい場合は専門家に相談下さい。床面は石材等、熱で変形しない材料で施工して下さい。
- ③ ストーブ周囲の床面が灰で汚れる場合があります。掃除が可能な床材として下さい。
- ④ 煙突の吸い上げ性能が悪いと製品自体の性能が発揮されません。煙突の設置は専門の業者に依頼して下さい。
- ⑤ 設置後は必ず慣らし運転を行って下さい。

■ 使用にあたっての注意

- ① ストーブの操作は、必ず設置業者の指導を受けてから行ってください。
- ② 日々のご利用の前に、異常がないか点検して下さい。
- ③ 設置後の慣らし運転では水蒸気や独特の臭いが生じます。必ず室内の換気を行いながら実施して下さい。
- ④ 正面ガラス扉および煙突の付け根のダンパー部分は大変熱くなります。扉や空気孔、ダンパーの開閉は、必ず耐火手袋を着用して行ってください。また、お子さまが手を触れないよう十分お気をつけください。小さなお子さまのいるご家庭では柵等を設置して下さい。
- ⑤ 扉以外の部分も熱を持ちます。ヤケドをする可能性もありますので、十分ご注意ください。
- ⑥ 燃焼中は扉を開けないで下さい。
- ⑦ 燃焼中の薪の追加投入は行わないで下さい。追加する場合は炉内で燃焼していない状態を確認し、耐火手袋を着用して、薪を追加して下さい。ヤケドしないようご注意ください。
- ⑧ 燃焼中の空気孔の調整は、内部の燃焼状態が適切かどうか確認してから行って下さい。
- ⑨ 灰は、薪の種類や利用方法、頻度でたまる量が異なります。あふれることのないよう着火前に確認し、適宜、排出して下さい。
- ⑩ 側面の灰採口の灰は年に1回程度、掃除機等で吸い出して下さい。



やけど注意
HOT SURFACE

■ 仕様

最大出力 kcal/h(kW) : 燃料によります
暖房面積 坪 (㎡) : 住宅性能によります
EPA 廃棄物量 / 時間 (g/h) : 測定中
燃焼システム : 断続燃焼
燃料の種類 : 自然木の薪
燃料容量 (㎡) : 0.0144 ㎡ (W0.2×D0.24×H0.3m)
最大薪長さ : 30cm
材質 (本体) : キャスタブル (不定形耐火物)、
 鋳鉄製扉 (耐熱ガラス)、鉄
ストーブ重量 (kg) : 約 300kg
ストーブ寸法 W×D×H(mm) : W500×D500×H950
煙突直径 mm (inch) : 150mm

- * カラーバリエーションについてはお問い合わせください。
- * 本仕様は MarK 7 (2014/5/1 現在) のものです。仕様は予告なく変更する場合がございます。最新の情報については、下記にお問い合わせください。

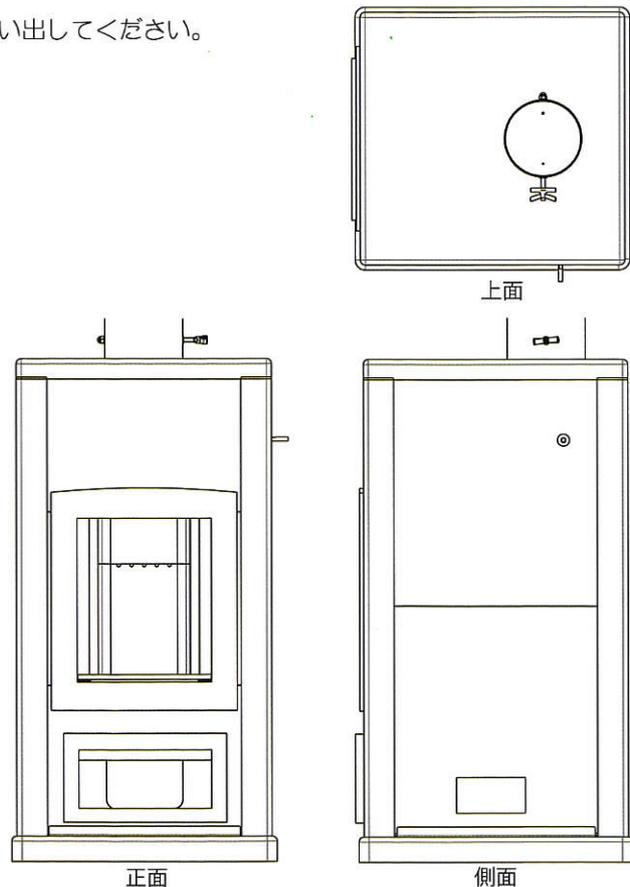
■ 開発

薪のある暮らし方研究所

■ 製造・販売 (お問合せ)

前出産業株式会社 (中小企業PL保険制度加入)

〒523-0087 滋賀県近江八幡市上田町 1288-18 <TEL>0748-37-1647 <FAX>0748-37-1699 <mail>info@maede.co.jp



薪のある暮らし方研究所 (通称: 薪研) の活動は、2009 年、滋賀県中小企業家同友会東近江支部会員らによる専門部会が発端。2009 年 6 月 7 日第 1 回の研究会が開催され、具体的なストーブの開発、薪の安定的な供給に向けて調査研究を重ねてきました。2010 年以降は林野庁・滋賀県の補助事業として「針葉樹を主燃料にできる純国産セラミック製蓄熱式薪ストーブ開発」に取り組み、針葉樹・間伐材を主燃料とできる国産の小型蓄熱式薪ストーブの開発を行いました。

薪のある暮らし方研究所 <http://makilab.jimdo.com/> 〒527-0034 滋賀県東近江市沖野 4 丁目 3-17 マックスウッド内 tel:0748-23-5705